2021 連合中央女性集会アピール（案）

私たちは、今日、「ジェンダー平等で多様性を認め合う社会をつくろう！～『推進計画フェーズ1』で203050ハスタートダッシュ～」をテーマに「2021連合中央女性集会」に集いました。昨年に引き続きWebでの集会となりましたが、連合が結成されて以来、初めての女性会長が選出された節目の中央女性集会で、今ある課題と、これから取り組んでいくべきことを多くの全国の仲間と共有できました。

この1年、ジェンダーや男女平等、女性参画がこれまでになく話題にのぼるようになりました。社会の流れは差別を許さず、多様性を認める方向に進もうとしています。一方で、労働組合には依然として男女平等の担当者は女性、といった固定的性別役割分担意識が残っているのも事実です。

まずは私たち労働組合の男女平等参画を進めなくてはなりません。この10月からスタートした連合「ジェンダー平等推進計画」フェーズ1に着実に取り組み、意思決定の場への女性の参画を進めましょう。

ジェンダー平等で多様性を認め合う社会の実現には、ジェンダーの視点が欠かせません。あらゆる分野で女性の意思決定過程への参画を促進し、その影響評価を行いながら政策などに反映していく「ジェンダー主流化」を推進し、ジェンダー平等を普遍かつ中心的な課題にしていきましょう。

とりわけ、政治分野の女性参画を進めることが必要です。まさに今、衆議院選挙が行われています。女性の声を代弁し、意思決定過程に女性の意見を反映する政治家を1人でも多く誕生させましょう。

この「2021連合中央女性集会」で得たことを職場・地域へ持ち帰り、私たち一人ひとりが身近な仲間と共有することが第一歩です。私たち自身ができることを一つずつ行うことが、ジェンダー平等で多様性を認め合う職場・社会の実現につながります。

2030年までに意思決定の場に女性が50%入る「203050」に向け、「Change, Challenge, Movement！」を合言葉に、私たち自身がさらなる変革と挑戦へ踏み出し、大きなうねりを作り出しましょう！

2021年10月22日
2021連合中央女性集会